

○『お子さんは、園であったことを家庭で話している。』の問いについては、0～5歳児全て同じ設問となっているため、まだ言葉で伝えられない園児もいることから、さまざまな回答があったのではないかと思う。

(委員)

→『お子さんは、こども園での生活を楽しんでいる。』が高評価のため、家庭で言葉では伝えていないが、園には楽しんで登園している様子が感じられる。

(園長)

○『食や健康などの衛生管理をきめ細かく行っている。』について、1名だったが、わからない。該当しない。と回答があった。全ての保護者の方にわかりやすく伝えることを検討していかなければならないと感じた。

○自由記載のご意見では、さまざまなご意見をいただいた。保護者の方からの貴重なご意見として、改善できることは園内で検討していきたい。また改善できないことについては、改善できない理由を伝え保護者の方に理解を得られるようにしていかなければならない。

(委員)

→『自然や生き物と触れ合う体験を大切にされた保育教育活動をしている』の設問は、園の自己評価より、保護者の方の方が高く評価していただいていることを嬉しく感じる。

→ご意見の内容によって、園内だけで決定できること。市内全体で検討していかなければならないこともある。また、個別に担任から話を聞いてあげて欲しい内容もある。

どの意見も回答を待っておられる。職員が検討して回答することで信頼関係が生まれてくる。丁寧な対応を願っている。

・1年間のまとめ【公開】

(園長)

○今年から副園長の配置がなくなり、園内の職員で協力しながら園運営を行ってきた。また、夏季休業期間中から、4・5歳児の園児の給食を学校給食センターの調理員の方に支援していただき、自園で調理することとなった。長期休業期間の前後は、学校給食センターからの支援が難しいため、派遣の調理員や園の職員で対応している。

○学校運営協議会では、設置後2年目で昨年度の反省を活かし、様々な行事に参加いただき園運営や園児の様子を更に知っていただく機会が増えたように感じている。来年度が委員の方の任期が最終の年になる。より良い園運営ができるよう今後ともご指導を願う。

(委員)

→学校運営協議会の委員は、園の職員の助けになるようにしたい。会議で出た意見が市役所や教育委員会に届くように動く必要がある。

→職員＝環境。人員が足りない等の問題は、教育委員会の責務として整えていかなければならない。学校運営協議会は子どものために環境を整える強い思いをもっている。

→今回の資料3の『成果と課題』の中に、人的な教育環境に課題があったと追加する必要がある。